

★学校教育目標		★重点計画の概要 オリンピック・パラリンピック教育推進校として、学力と体力のバランスのとれた育成を図る。また、第2次日野市学校教育基本構想を具現化するため、地域と連携し体験的な学習活動を充実させて知識の活用能力を高めることにより、21世紀を切り開く力を育成する。その上で一人一人の生徒が自己の個性や適性を理解し、主体的に進路を選択する能力や態度を育てる。
★目指す学校像（ビジョン）		
【めざす生徒像】	①将来の夢に向けて努力し、自信をもって進路を切り開く生徒 ②礼儀正しく、真面目さや正義を大切にする生徒 ③互いに思いやりの心もち、力を合わせてより良いも	
【めざす学校像】	①生徒が生き生きとした毎日を送れる学校 ②生徒の力を伸ばす、質の高い授業を行う学校 ③生徒一人一人を大切に、よく目が行き届く学校	
【めざす教師像】	①生徒理解に優れ愛情をもって向き合う教職員 ②学習指導に関する識見が高く実践力のある教職員 ③チームワークを大切にして職務に当たる教職員	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	
				取組指標	成果指標
子供	学ぶ力の向上を目指した、より良い授業の探求	全ての生徒の学習意欲を高める魅力ある授業を目指して、ひのスタンダードに基づいた授業改善に取組み、指導内容の充実と指導方法の工夫・改善を図る。特に、基礎的・基本的な知識・技能の定着に向け授業の構造化を推進し、「分かる・できる」喜びのある授業づくりを推進する。	授業のユニバーサルデザイン化をさらに進めるための校内研究を実施する。国、都、市が実施する学力調査の結果を分析した上、授業改善推進プランを作成し実行する。また、日野市中教研その他の教科指導研究に教員を積極的に参加させ、教員全体の教科指導力の向上を図る。	4 90%以上の教員に十分な指導実績がある	4 生徒アンケートで「授業に満足している」という回答が90%以上
				3 80%以上の教員に十分な指導実績がある	3 生徒アンケートで「授業に満足している」という回答が80%以上
				2 70%以上の教員に十分な指導実績がある	2 生徒アンケートで「授業に満足している」という回答が70%以上
				1 十分な指導実績がある教員が70%未満である	1 生徒アンケートで「授業に満足している」という回答が70%未満
子供	たくましく生きるための健康づくりと体力・運動能力の向上	体力向上、食育、健康指導の促進に全校で計画的・組織的に取組む。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、国際理解教育と連携したスポーツ教育の推進をとおして、国際コミュニケーションスキルやスポーツに親しむ態度を養う。	体力向上のための「一校一取組」の実施、体育の授業におけるチームティーチング、アスリートによる出前授業の実施、部活動の振興、東京駅伝等のスポーツ行事への積極的な参加などをとおして、生徒が自分の体力・運動能力の向上を実感できるようにする	4 90%以上の教員に十分な指導実績がある	4 生徒アンケートで「体力が向上した」という回答が90%以上
				3 80%以上の教員に十分な指導実績がある	3 生徒アンケートで「体力が向上した」という回答が80%以上
				2 70%以上の教員に十分な指導実績がある	2 生徒アンケートで「体力が向上した」という回答が70%以上
				1 十分な指導実績がある教員が70%未満である	1 生徒アンケートで「体力が向上した」という回答が70%未満
子供	生活指導の充実による基本的な生活習慣の確立と、情報モラル教育の推進	基本的な生活習慣の確立と規範意識の育成を柱に、学級・学年を超えた生活指導の基本理念を確立し、きめ細かい生活指導を組織的に行う。特に生徒相互のかかわりに大きな影響を与えているインターネット関連の情報モラル教育を充実させる。	生徒会が主体となって行うあいさつ運動、学級での班活動、生徒会・委員会活動における異学年集団による活動、部活動などにより、自分の個性への理解、他者への配慮と尊重、リーダー育成、チーム作りの経験を十分にさせる。情報モラルの向上に向け、警察署とも連携してスマートフォンの普及を前提としたインターネット利用に関する指導を行う。	4 90%以上の教員に十分な指導実績がある	4 生徒アンケートで「ネットの適切な使い方への知識が高まった」という回答が90%以上
				3 80%以上の教員に十分な指導実績がある	3 生徒アンケートで「ネットの適切な使い方への知識が高まった」という回答が80%以上
				2 70%以上の教員に十分な指導実績がある	2 生徒アンケートで「ネットの適切な使い方への知識が高まった」という回答が70%以上
				1 十分な指導実績がある教員が70%未満である	1 生徒アンケートで「ネットの適切な使い方への知識が高まった」という回答が70%未満
教職員・学校	発達支援の観点に立った特別支援教育の充実と交流の促進	通常学級に在籍する生徒への指導に当たって、進学支援シートを活用し、個に応じた学習支援と、保護者への教育相談を充実させる。また、特別支援学級と通常学級の交流を促進し、一体感のある教育活動を展開する。	日常的な観察のほか巡回相談を活用して状況を把握し、専門家からアドバイスを得る。特別支援教育校内委員会を開催して、各学年に在籍している支援を必要とする生徒に関する情報を交換し、個別生徒の指導方針を決め、担任、スクールカウンセラーとのかかわりについて具体的な方向を示す。必要に応じSSWの派遣を要請し家庭への支援を行う。	4 90%以上の教員に個別支援の実績がある	4 生徒アンケートで「自分の困っていることに支援があった」という回答が90%以上
				3 80%以上の教員に個別支援の実績がある	3 生徒アンケートで「自分の困っていることに支援があった」という回答が80%以上
				2 70%以上の教員に個別支援の実績がある	2 生徒アンケートで「自分の困っていることに支援があった」という回答が70%以上
				1 個別支援の実績がある教員が70%未満である	1 生徒アンケートで「自分の困っていることに支援があった」という回答が70%未満
教職員・学校	小中連携教育の推進による「学びの連続性」の確立	小学校と連携して「学びの連続性」を確立させるため、指導計画、指導方法の観点からの情報交換を密にし、双方の学習指導の改善に役立てる。地域団体の主催する児童生徒対象の学習活動や行事への支援を通して、中学生と小学生の交流を促進する。	近隣小学校との交流、小教研・中教研の合同部会、オリンピック・パラリンピック教育推進校事業、部活動体験などをとおして、小学校との交流や共同研究を推進する。また、地域主催の課外学習（土曜の広場）や育成会、児童館の主催する小中学生対象の行事に中学生の参加を促進し、児童・生徒の交流を深める。	4 80%以上の教員に異校種連携の実績がある	4 生徒アンケートで「小学校で学んだことを中学校で生かした」という回答が90%以上
				3 70%以上の教員に異校種連携の実績がある	3 生徒アンケートで「小学校で学んだことを中学校で生かした」という回答が80%以上
				2 60%以上の教員に異校種連携の実績がある	2 生徒アンケートで「小学校で学んだことを中学校で生かした」という回答が70%以上
				1 異校種連携の実績がある教員が60%未満である	1 生徒アンケートで「小学校で学んだことを中学校で生かした」という回答が70%未満
学校、家庭、地域・社会	21世紀を切り開く力の育成を目指した、体験的な学習活動の充実	知識の活用能力を身に付けさせるため、体験的な学習活動の充実を図る。特に総合的な学習の時間を再構築し、地域の教育資源も活用しながら自ら課題を発見し探求する姿勢を確立させる。その上で課題解決に向けた思考力、表現力、コミュニケーション能力を育成する。	校内研究をとおして、総合的な学習の時間の指導と各教科で身に付けさせる知識・技能との関連を明確にする。地域の各種産業と連携したキャリア教育の在り方について検討し実施計画を作成する。また、地域の人を講師とした授業を実施し、地域の歴史、文化、環境への理解を深める。	4 90%以上の教員に十分な指導実績がある	4 生徒アンケートで「地域の人から学ぶ機会があった」という回答が90%以上
				3 80%以上の教員に十分な指導実績がある	3 生徒アンケートで「地域の人から学ぶ機会があった」という回答が80%以上
				2 70%以上の教員に十分な指導実績がある	2 生徒アンケートで「地域の人から学ぶ機会があった」という回答が70%以上
				1 十分な指導実績がある教員が70%未満である	1 生徒アンケートで「地域の人から学ぶ機会があった」という回答が70%未満
学校、家庭、地域・社会	地域や関係機関との連携による防災・安全教育の推進	地震や風水害などの自然災害に対する知識を高め、多様な避難訓練を実施して災害への対応力を育てる。また、異校種学校や関係機関と連携し、地域の人材を生かした防災教育、ボランティア活動を推進することで、地域防災の中での中学生の役割について理解させる。	安全教育プログラムを基に、安全教育の全体計画、年間指導計画の見直しを図り、必要な学校施設・備品の整備を進める。地域と連携した学校防災計画を推進する中で、災害発生時の中学生の安全確保と、被災者支援や復旧における中学生の役割について検討し方向づける。また、日野市の中学生被災地派遣事業に生徒会を中心に取組ませ、報告会を開催して中学生の視点から災害対応や復興について考えを深めさせる。	4 80%以上の教員に十分な指導実績がある	4 生徒アンケートで「防災への意識が高まった」という回答が90%以上
				3 70%以上の教員に十分な指導実績がある	3 生徒アンケートで「防災への意識が高まった」という回答が80%以上
				2 60%以上の教員に十分な指導実績がある	2 生徒アンケートで「防災への意識が高まった」という回答が70%以上
				1 十分な指導実績がある教員が60%未満である	1 生徒アンケートで「防災への意識が高まった」という回答が70%未満

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。